

平成 23 年 10 月吉日

お知らせ

「透視用エックス線装置の線量表示値の意味するもの」

日時：平成 23 年 11 月 12 日（土） 9:20-10:50

場所：富山国際会議場 202 会場

定員：100 名

主催：日本放射線技術学会中部部会 放射線防護・アンギオ研究会

協賛：日立メディコ株式会社

趣旨

エックス線装置に線量の値が表示されるものが多く見られるようになった。とくに透視を用いる装置は検査、治療時間が長時間に及ぶこともあり、患者の線量管理が求められている。装置に面積線量計を搭載していれば、実測した値を表示する。しかしながら、透視用 X 線装置は面積線量計を搭載した装置ばかりでなく、撮影条件あるいは透視条件から計算によって線量を表示しているものもある。この数値が何を表し、どれくらいの精度なのか、測定データを元に検証する。また、線量が表示されない透視装置の線量管理のアイデアについても議論したい。

基調講演 1 9:20-9:50

「透視用エックス線装置の変遷と線量表示の機構（仮題）」

座長：名古屋第二赤十字病院 有賀英司

演者：日立メディコ 技術担当講師

基調講演 2 9:55-10:25

「装置の線量表示値と技師の役割」

座長：浜松医科大学附属病院 竹井泰孝

演者：名古屋第二赤十字病院 才賀 治

討論会 10:30-10:50

テーマ「簡単な線量管理って、ある？」

座長：金沢大学医学部附属病院 飯田泰治・能登公也